



## 杜若(かきつはた) 佐紀沼の菅を 笠に縫い 着む日を待つに 年そ経にける

5月の万葉集 巻18-2818 作者不詳  
(カキツバタの咲く佐紀沼の菅を笠に編んで着  
ける日を待っていて年が経ってしまった)



### 町民の皆さんにも、子どもたちにも 広陵町の文化財の多くを知ってほしい!

今年は季節の移り変わりが早く、この時期に咲いていたハマ  
ミズキやツツジ、ボタンなどの花も見られなくなりました。代わっ  
て、木々の新緑が目まぶしい好  
季節を迎えています。

この3年余りの間、社会を一変さ  
せた新型コロナウイルス感染症も5  
月8日(月)から感染症法上の位置  
づけが2類から5類に引き下げら  
れ、季節性インフルエンザと同様の対応となりました。また、世界  
保健機関(WHO)が新型コロナウイルス感染症の緊急事態は  
終わったと宣言しました。

5月2日(火)に開催した校長会では、新型コロナウイルス感  
染症で規制されていた様々な学校園の行事も、感染防止対策  
をしっかりとった上で、以前とほぼ同様の活動を進めてほしい  
と話しました。学校園では、ゴールデンウィークも終わり、いよいよ  
教育活動が本格化する時  
期になりました。

特に、中学校では、4年ぶ  
りに沖縄への修学旅行が実  
施されました。真美ヶ丘中  
学校が5月10日(水)から、広  
陵中学校が11日(木)から2  
泊3日の日程で平和学習を中心  
に、マリ体験など沖縄の「**歴史  
や文化に触れる**」とともに現在、  
沖縄が置かれている現状も  
深く学習してくれたのではない  
かと思います。

ところで、「**歴史と文化に触れる**」  
ということでは、5月3日  
(水)から5日(金)に広陵町馬  
見北8丁目にある国史跡「**牧  
野(ばくや)古墳**」の石室の特別  
公開がありました。事前の申し込  
みなしでの石室公開は毎年  
春と秋に実施しています。

この特別公開には広陵町  
文化財ガイドの会の皆さんに  
案内と説明をしていただき  
ており、私は初日の3日に自  
宅からウォーキングを兼ねて  
当古墳まで公開ガイドの皆  
さんへの感謝の気持ちを伝  
えるとともに、付近の落葉  
などを清掃す



るために足を運びました。午前10時からの公開に合わせて周  
辺の清掃とともに石室の照明の確認のために久しぶりに石室に  
入りましたが、いつも入るたびに感じる  
のは、石室に漂う凜とした神秘さと荘  
厳な雰囲気です。

牧野古墳は、34代舒明天皇の父で  
押坂彦人大兄皇子(おしさかひこひと  
のおおえのみこ)の墓と推定されてい  
ます。直径は約60メートル、高さ約13  
メートルの三段築成の大型円墳で、全  
長17.1メートル、高さ4.5メートルの大  
きな横穴式石室が特徴です。

この特別公開には、3日間で町内外から376人の方々が参加  
され、文化財ガイドの皆さんの説明を熱心に聞いておられたよう  
です。

広陵町には牧野古墳以外にも、馬見古墳群最大級の国の特別  
史跡である巢山古墳や県指定史跡の三吉石塚古墳、重要文化  
財に指定されている百済寺三重の塔や与楽寺の十一面観  
音立像、そして町のイメージキャラクターであるかぐやちゃんのモチ  
ーフとなったかぐや姫が主人公の竹取物語の舞台であると考え  
られている讃岐神社など、数多くの文化財が点在しています。

このたよりを読まれている町民の皆さんや子どもたちにも、もっ  
ともっと広陵町の史跡や文化財を知ってもらって我が町の歴史  
や文化に触れてもらい、広陵町の良さを一人一人が関係する多  
くの人々に伝えてもらえればと思います。特に小学校3年生では、  
社会科で自分たちが住む市町村の人々の生活や役場など公共  
施設の役割、そして地理的な位置や文化、歴史などを「わたした  
ちの広陵町」という副読本で学習しています。そこには前述した  
ように数多くの文化財が紹介されていますが、その副読本で教  
えてもらったり、自ら学んだりするだけでなく、できればそれぞれの  
場所に足を運んで自らの目でしっかりと確認してほしいと思  
います。「**百聞は一見にしかず**」と言います。まずは身近にある文化財  
に自ら足を運んでじっくりと見るのがより深い学習につながる  
と思います。



### 詩のコーナー

あいさつ

「おはよう」というと目がさめる  
「いただきます」というとおなか  
がすく  
「いってきます」というとげん  
きになる  
「ありがとう」というときもち  
がいい  
「ごめんなさい」というとほ  
っとする  
「おやすみなさい」というと  
いいゆめみられる  
あいさつってうれしいな



## 教育委員会関係団体の取組

### 「親子で作る みそ造り教室」を実施!

4月29日(土)に広陵中央公民館で「親子で作る みそ造り教室」を実施し、町内の児童とその親子11組が参加しました。



この教室の講師には、古寺で塩糎(こうじ)などを造っておられる糎店の和田博文さんに務めていただきました。

前日に10時間ほど煮込んですりつぶした大豆と煮汁、そして糎が用意され、一人一人が大きな桶の中で、自分の体重をかけながら、素手でしっかりとこねる作業をしていました。その後、しっかりこねて丸めたものを熟成用の容器に入れて、後は約半年ほどの熟成期間を経ておいしい味噌になるそうです。子どもたちは作業途中に、「食べられるまで6か月もかかってしまうけど、早くみそ汁を飲みたい」、「こうじと大豆を上手く混ぜられた」、「いつも飲んでいるみそ汁と飲み比べてみたい」など、いろいろな感想を抱きながら楽しそうに作っていました。



「いつも飲んでいるみそ汁と飲み比べてみたい」など、いろいろな感想を抱きながら楽しそうに作っていました。

### 足の指の握力を測定しました!

広陵町では、「骨折0(ゼロ)のまち」の実現を目指して様々な取組が行われています。教育委員会では、その取組に協力するとともに、子どもたちの足に焦点を当てて、**足育**を推進しています。足育とは、子どもから大人からまで元気な体づくりのために、足の大切さを知り、体が安定する足の使い方、靴の履き方・選び方を学び、いい姿勢や歩き方を身に付けること目的としています。今回、その足育の取組の一つとして、各学校で始められている体力測定に併せて足の指の握力測定(足趾把握筋力測定)と足裏の土踏まず形成のスキャンを実施しています。

これらの測定には特別な測定器具が必要なことから畿央大学の福本先生、上田先生、そしてゼミの学生に協力をいただきながら、測定しています。

右の写真は、5月9日(火)に行われた広陵中学校2年生の測定の様子です。足指の握力の強さは身体のバランスをとる、転倒防止、歩行速度が速くなる、瞬発力や敏捷性等に関係するためと考えられ、足育にとって、とても大切な測定となります。今後、他の小中学校でも順次測定していただき足育につなげる予定です。



## 学校の様子



### 西小学校から

### 2年生による「学校たんけん」

5月2日(火)、入学したばかりの1年生に学校内にある施設やその場所を知ってもらおうと、2年生による「学校たんけん」が行われました。事前に各教室や施設に手描きの案内板を掲示しておき、当日は校舎の地図を持った1年生を連れて校内を説明して回りました。1年生に分かりやすく説明するためにどうしたらいいか考える機会にもなりました。



### 北小学校から

### 交通安全教室

4月19日(水)に香芝警察署・広陵町安全安心課に来ていただき、交通安全教室を行いました。保護者の方には、自転車を運んでいただいたり、PTA役員の方々には、安全点検のお手伝いをお願いしたりと、たくさんの協力をいただき、子どもたちもしっかりと学ぶことができたと思います。



### 東小学校から

### 一年生を迎える会

5月9日(火)全校児童が集まり、「一年生を迎える会」を行いました。高学年が計画し、会の進行もしてくれました。アーチをくぐって入場したあと、一人一人の名前を呼んでもらい大きな声で返事が出来ました。その後、学校に関するクイズやジャンケン大会をして楽しみました。また、プレゼントのメッセージカードをもらい、満面の笑顔を見せてくれました。



### 真美ヶ丘第二小学校から

### 交通安全教室

4月25日(火)に日本自動車連盟(JAF)のみなさんに来校いただき、交通安全教室を開催しました。低学年・中学年・高学年の3部制で実施しました。

見通しの悪いところでの自転車の乗り方やヘルメットをかぶることの大切さ、自動車の後部座席でシートベルトをしていなかったらどうなるかなど、交通安全について指導いただきました。

